

生物資源科学部 生物環境科学科
陸域生物圏科学 **森林科学研究室**

スタッフ	教授	蒔田 明史 (まきた あきふみ)
	准教授	
	助教	星崎 和彦 (ほしざき かずひこ)

森林科学とは：

悠久の歴史の中で、様々な命を育んできた森。森を科学することは、人が自然と共に生きる道を探ることでもある。森林科学とは、森林及び人間と森林との関わりを対象にし、自然科学のみならず社会・経済・人文科学をも包含した基礎から応用に至る広範な学問領域です。



樹木の一生を追いかける
(カツラ)

芽生えを数える

小さな芽生えは、ほとんどがその年のうちに死んでしまいます。

幼樹の高さを測る

大木が根こそぎ倒れた明るい場所に首尾よくたどり着きました。

巨木の太さを測る

この大きな株全体が1つの個体で、こんな巨木も1本の幸運な芽生えが長い年月を経て大きくなったものなのです。

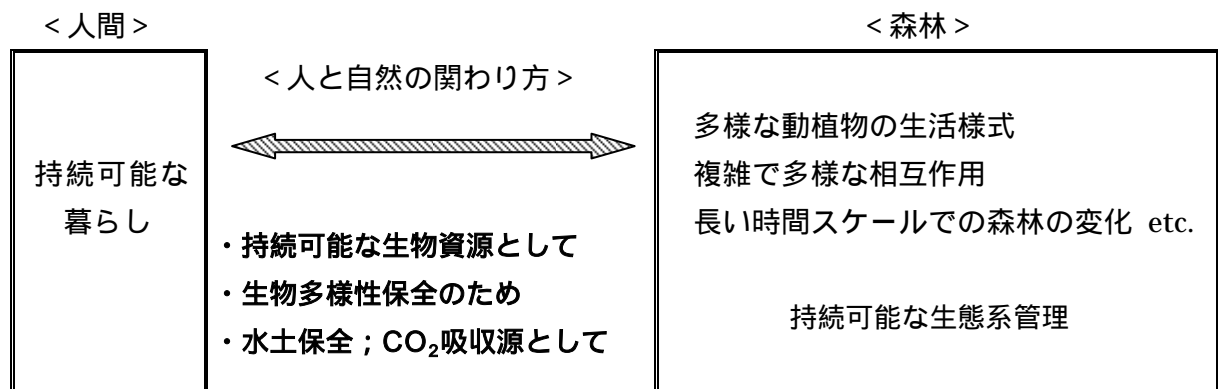
森林科学講座では：

- ・秋田県、東北地方の森林生態系を教育・研究のおもな対象にしています。
- ・自然科学の一分野としての 生態学 を基礎にしています。
- ・長期的視野、持続可能性 を考慮して取り組んでいます。
- ・松くい虫被害の防除に取り組んでいます。人の輪が次第に広がり、地元の方々のご協力のもと、自前の炭窯で定期的に、楽しく炭を焼いています。
- ・一般公開の「森林科学セミナー」を開催し、開かれた研究室を目指しています。
- ・県庁や林業家の方々と交流を図りながら、現場とのつながりも重視しています。

秋田の地域特性

- ・ 県総面積の 71% が森林
 - ・ 白神～十和田～八幡平～駒ヶ岳～和賀山塊～栗駒山～鳥海山と周囲が豊かな自然林
 - ・ 木材関連産業が盛ん
 - … エコマテリアル・バイオエネルギー源としての林産物の安定供給、
豊かな自然との共生のための森林整備の必要性
- ⇒ 50年後を念頭においた森林管理計画の必要性 …… < 持続可能性を求めて >

森林へのアプローチ



講座で取り組んでいる主なテーマ：

秋田県の松くい虫被害の防除（炭焼き通信の発行）

新しい松被害材を炭にして、病原体を持つ昆虫（被害材の中のマツノマダラカミキリ）の分散を防ぐことで被害の深刻化を防ぎます。できた木炭と木酢液は炭焼き参加者に自由に持ち帰ってもらったり、八郎潟の水質浄化等の研究に利用されています。

ブナ林や溪畔林の世代交代

持続的な森林管理を達成するためには森林の本来の生態を知る必要があります。十和田湖や奥羽山系の調査地では、開花結実、ササとの関係、小動物との関係などに着目して、林の成り立ちや世代交代の仕組みを調べています。また、植物群落の多様性に配慮した森林管理についても研究しています。

秋田スギの林分構造と天然更新

二ツ井町仁鮎水沢のスギ林など日本を代表する秋田スギ林の持続的管理を目指して、秋田スギの成長や世代交代について調べています。

その他にもさまざまな調査地、研究テーマがあります。ウェブサイトをご覧ください。
炭焼き通信・森林科学セミナーのご案内もウェブサイト上でを行っています。

